

全国24信金連携 取引先商談支援

大垣西濃などが新組織

大垣西濃信用金庫など全国24の信金は14日、全国にある全信金計約7400店舗のネットワークを生かし、取引先の商談などを取り次ぐ「よい仕事おこしネ



「よい仕事おこしネットワーク」の設立を発表する各信用金庫の代表者ら＝東京都品川区、城南信用金庫本店

ットワーク」を立ち上げた。それぞれの取引先企業の情報を受け付け、全国の信金やバイヤーらに発信。地域の枠を越えたビジネスマッチング、事業支援に取り

組む。全国261の全信金に参加を呼び掛け、専属のコーディネーターも配置する。拠点は今後、整備が進む羽田空港跡地第1ゾーンに置く予定。

全国の信金は毎年連携し、地方創生や被災地支援を目的とした商談会「よい仕事おこしフェア」を開催している。イベント期間中にとどまらず、中小企業の要望に応じていこうとネットワークを立ち上げるようになった。

この日、東京都内で記者発表会があり、大垣西濃信金の杉原卓二常務理事は

「取引先が全国に販路を拡大することができ、期待が大きい」と話した。